

様式第1号(第4条)

(表 面)

指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者 指 定 申 請 書

宜野湾市上下水道事業管理者 殿

年 月 日

申請者 氏名又は名称

住 所

代表者氏名

電話番号

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）の氏名	
フリガナ 氏 名	フリガナ 氏 名
事業の範囲	
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり

(備考)この用紙の大きさは、A列4番とすること。

(裏面)

当該給水区域で給水装置工事業を行う事業所の名称	
上記事業所の所在地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

当該給水区域で給水装置工事業を行う事業所の名称	
上記事業所の所在地	
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号

(備考)この用紙の大きさは、A列4番とすること。

様式第2号(第4条)

誓 約 書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからへ
までのいずれにも該当しない者であることを誓約します。

年 月 日

申請者 氏名又は名称

住 所

代表者氏名

宜野湾市上下水道事業管理者 殿

(備考)この用紙の大きさは、A列4番とすること。

別表

機 械 器 具 調 書

年 月 日現在

種 別	名 称	型 式、性 能	数 量	備 考

(注)種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

(備考)この用紙の大きさは、A列4番とすること。

事業所の平面図及び付近見取図

平面図	面積	㎡
付近見取図		

注意

1. 事業所の写真は、外部(看板等が入っている全体写真を1枚含む。)及び内部の状態がわかるもの数枚。
2. 平面図は、間口及び奥行き寸法、机の配置状況等を記入すること。
3. 付近見取図は、主な目標を入れてわかりやすく記入すること。

指定給水装置工事事業者の事業運営に関する確認書

年 月 日

氏名又は名称
郵便番号、住所

代表者氏名
電話番号

1 沖縄県内で実施している指定給水装置工事事業者(北部・中部・南部)ブロック研修会の受講
実績(過去5年以内)

直近の受講年月日(受講を証明する書類(修了証書等)の写しを添付してください。)	(公表: 可・不可)
年 月 日 ・ 未受講	
(未受講の場合、その理由) ※非公表	

2 指定給水装置工事事業者の業務内容

休業日、営業時間(修繕対応時間もご記入ください。)	(公表: 可・不可)
休業日 :	
営業時間 :	
修繕対応時間 :	
漏水等修繕対応の可否(対応: 可・不可)	(公表: 可・不可)
屋内給水装置の修繕 ・ 宅内埋設部の修繕 その他(
対応工事種別(新設・改造等)	(公表: 可・不可)
配水管からの分岐 ~ 水道メーター (新設・改造等)	
水道メーター ~ 宅内給水装置 (新設・改造等)	
その他	(公表: 可・不可)

※ 公表には、ホームページ等への掲載を含みます。

※ 業務内容に変更が生じた場合は、速やかにその旨を届け出るようお願いします。

3 給水装置工事主任技術者等の研修受講実績(過去5年以内)

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

4 給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施行技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。

受講者名(公表対象外)	研修会名、実施団体	受講年月日
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)		
可・不可		

外部研修については、受講を証明する書類(受講証等)の写しを添付してください。

自社内研修については、研修内容を記載してください。

受講者名は、公表の対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

4 過去1年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況

水道法施行規則 第36条

法第25条の8に規定する厚生労働省令で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。(以下抜粋)

2 配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

□「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しないため不要

過去1年以内の工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。

技能を有する者の氏名 (公表対象外)	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか (○×を記入)	資格等を有しているか (○×を記入)		工事年度
			保有している資格等※	
上記内容の公表の可否(公表には、ホームページ等への掲載を含みます。)				
可 ・ 不可				

※以下に示す保有資格等(下線部)を記載してください。

- ① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた配管工(配管技能者、その他類似の名称のものを含む)
- ② 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)第44条に規定する配管技能士
- ③ 職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程修了者
- ④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者(配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定)

資格を証明する書類(資格証等)の写しを添付してください。

「配水管からの分岐～水道メーター」の工事を施行しない場合は、任意の記載となります。

技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。

行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。